報告 REPORT

令和6年度
郡市･医育機関医師会組織強化担当役職員連絡協議会

［令和７年２月22日（土）16:00･北海道医師会館］

常任理事・総務部長　目黒（めぐろ）　順一（じゅんいち）

去る令和７年２月22日（土）16時から、各郡市・医育機関医師会から組織強化担当役職員に参集いただき、標記協議会をWeb併用にて開催した。23医師会から役職員42名（会場：役員６名、職員８名、Web：役員14名、職員14名）にご出席いただいた。

◇

はじめに、松家会長の挨拶があり、日本医師会・角田副会長から「さらなる医師会組織強化に向けて」をテーマに組織率の現状や組織強化の重要性等について説明いただいたほか、医師会会員情報システム（MAMIS:マミス）ついて情報提供があった。

講　演

「さらなる医師会組織強化に向けて」

日本医師会　副会長　角田　　徹　先生

●日本医師会への入会についての基本的な考え方

日本医師会は、医師個人の資格で加入する我が国唯一の医療界を代表する組織であり、医師たる者には、すべて医師会活動に参画してほしいと考えている。

医療界が求める制度・政策等を実現するためには、その決定プロセスに深く関与する必要があり、医師会を通じて医療界の意見等をその決定プロセスに反映させていくことが、現実的な方法と考える。

医療に関する制度・政策等は一旦決定となると、それにすべての医師が縛られることになる。一度決定したことを変更することは、容易ではないことから、すべての医師が自分事として医師会活動に関心を持ち、その活動に参画する中で、医師会とともに医療現場が求める制度・政策等を実現していくことが必要である。

医師会活動を自分事として認識してもらうためには、まず医師会活動に参画してもらい、医師会内部からその活動を実感してもらうことが、第一歩になると考える。医学部卒後５年間の会費減免を行っているので、会費減免対象者の日本医師会への入会促進について、先生方の特段のご理解とご協力をお願いしたい。

【日本医師会・角田副会長】

●組織率等の現状

日本医師会員は、2024年（令和６年）12月１日現在で177,383人と前年同日の175,933人から1,450人増えた。北海道は郡市医師会への入会率は全国平均より高いが、日本医師会への入会率が低いことが特徴である。

医師会は開業医会員が多いイメージをもっている方も多いと思うが、日本医師会員のうち、開業医は38.4％と開業医以外の会員の方が多いのが現状である。北海道医師会員のうちの日本医師会員の開業医も31.2％であり、68.8％が開業医以外の会員である。

●医師会入会のメリット

医師が医師会を持つことのメリットと医師が医師会に入ることのメリットの二つの視点で考えてほしい。

日本の医療制度を守るには、一人でつぶやいていても何も変わらない。現場の意見を伝える手段が医師会であり、一人でも多くの医療現場の声が我が国の医療をより良い方向に変えていく力になる。医療制度を守ることが、国民の生命と健康を守ることにもつながる。

医師会は３層構造であり、郡市医師会に入会の上、都道府県医師会・日本医師会に入会いただく。それぞれの医師会がカウンターパートとして行政と対峙しており、その地域の健康と介護・福祉を守る体制を充実させていくためにもそれぞれの医師会に入会していただき、現場の意見を日本医師会に届けてほしいと思っている。

医師会に入ることのメリットは、医師賠償責任保険制度や医師年金、医師資格証の発行や女性医師支援センター等、日本医師会はライフステージにあわせて会員の先生方をしっかりサポートしている。医師が心身ともに健全に、その職責を存分に発揮してもらえるよう環境整備にも取り組んでいる。日本医師会入会案内の冊子に詳しく記載しているため加入勧奨の際にお配りいただきたい。

●より具体的な取り組みの必要性

医師会内部では、医師会の存在意義や重要性が再

認識されてきたが、特に若手医師を中心とした入会促進には十分につながっていない部分も一部では見受けられる。今後は、これまでの成果を検証しながら、各地域の特性に応じた取り組みを継続的に行うと同時に、より具体的で一歩踏み込んだ取り組みが必要である。

入会促進等に向けて短期的な目標としては、①より多くの入会を得ること、②異動手続き等の煩雑さ等による退会を防ぐこと、③会費減免期間終了後の入会継続を図ること、である。新臨床研修医の入会促進や臨床研修終了後のＣ会員からＢ会員への異動手続きの徹底等について取り組んでいただきたい。

●医師会会員情報システムMAMIS（マミス）

MAMISは、日本医師会が独自開発するWebベースの会員情報の管理システムであり、従来の複写式届出用紙を廃止し、個々の医師会が管理する会員データを一元化することで会員や事務局作業負担の軽減につながる。日本医師会会員へは、登録済みの会員情報に基づき、ID／パスワードを案内済みであり、令和６年10月30日からログイン可能となっている。会員はどこからでも医師会登録情報の変更や入会・異動等の手続きを行うことができ、自身が取得済みの認定医等の単位の確認が可能となる。

●各医師会に取り組んでほしいこと

「すべての医師を代表する組織」としてのプレゼンスや発言力を高め、国民の生命と健康を守り、医師の医療活動を支えるという医師会の役割を果たしていくためにも、会員数と組織率の増加・上昇傾向を、維持・継続していくことが必要であり、そのためには、①会費減免期間の延長と入会促進、②臨床研修医への対応、③来年度の新臨床研修医への対応、について特段のご協力をお願いしたい。

◇

その後、事務局から北海道内の医師会組織率の現状を報告し、組織強化に向けた具体的方策について協議を行った。各医師会からは、医師会活動を若手医師に説明していくことが入会促進に結びつく等の意見があった。

◇

組織強化に特効薬はなく、日頃からの地道な活動を長期間にわたり継続して初めて成果がでるという性質のものである。今後も引き続き本協議会等を開催し、問題意識を共有できるような環境を整えていきたい。各郡市・医育機関医師会の皆様も一人一人、身近なところから始めて、大きな組織強化につなげていきたいと思っている。さらなるご尽力をお願いしたい。

日本医師会公式YouTubeチャンネルの登録ならびに
日本医師会LINE公式アカウントの友だち追加へのご協力のお願い

日本医師会では公式YouTubeチャンネルやLINE公式アカウントを通じて、さまざまな情報を提供しています。それらの情報をご活用いただくため、ぜひ、YouTubeのチャンネル登録ならびにLINEへの友だち追加を、下記の二次元バーコードからお願いいたします。

**●日本医師会
公式YouTube
チャンネル**

**●日本医師会
LINE公式
アカウント**

問い合わせ先：日本医師会広報課　E-mail：kouhou@po.med.or.jp